

**製品名: シナプトタグミン XIII ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab18499**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	48kDa

**抗原情報**

遺伝子名	SYT13
別名	SYT13; KIAA1427; Synaptotagmin-13; Synaptotagmin XIII; SytXIII
遺伝子 ID	57586.0
SwissProt ID	Q7L8C5
免疫原	抗血清はヒト SYT13 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 321-370

**背景**

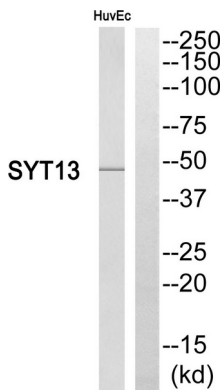
シナプトタグミン 13(SYT13) ホモサピエンス この遺伝子は、大規模なシナプトタグミンタンパク質ファミリーのメンバーをコードします。ファミリーのメンバーは、細胞外 N 末端膜貫通ドメインと、2つのタンデム C2 ドメイン (C2A および C2B) を有する細胞質 C

末端を有します。シナプトタグミンファミリーのメンバーは、互いにホモマーおよびヘテロマー複合体を形成できます。また、それぞれ異なる生化学的性質、発生プロファイル、および組織分布パターンを有します。シナプトタグミンは多細胞生物において膜輸送体として機能します。この遺伝子には、異なるタンパク質アイソフォームをコードする2つの選択的スプライシング転写バリエーションが記載されています。[RefSeq 提供、2011年10月],ドメイン: 最初のC2ドメイン/C2AはCa<sup>2+</sup>依存性リン脂質結合を媒介しません。ドメイン: 2番目のC2ドメイン/C2Bドメインは、カルシウムの存在にかかわらず、リン脂質に結合します。機能: 輸送小胞の細胞膜へのドッキングに関与している可能性があります。類似性: シナプトタグミンファミリーに属します。類似性: 2つのC2ドメインを含みます。サブユニット: NRXN1と相互作用します。組織特異性: 脳、脾臓、腎臓で発現します。、

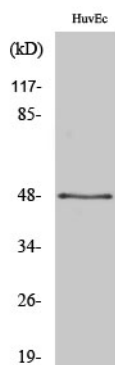
## 研究分野

オルガネラタンパク質、シグナル伝達、タンパク質輸送、小胞輸送、調節、神経科学、プロセス

## 画像データ



SYT13 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンは SYT13 ペプチドでブロッキングされている。



シナプトタグミン XIII ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析